

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
69

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 〔令和3年12月20日発行〕

WINTER 2021

令和三年度 秋季定例会（雇用改善推進会議）

令和三年十月二十九日（金）ホテルグランヴィア広島

A. 定例会報告

- 一、開会の辞
副会長 篠森 義晴
会長 岩田 正吾
- 一、全鉄筋会長挨拶
会 長 岩田 正吾
- 一、来賓祝辞・挨拶
国土交通大臣 齊藤 鉄夫様
衆議院議員 公明党副代表 自由民主党 中山 泰秀様
衆議院議員 前防衛副大臣 衆議院議員 自由民主党 中山 泰秀様
- (1) 各事業委員会報告
・経営委員長 副会長 篠森 義晴
・外国人受入事業委員長 副会長 武田 美治
・技術委員長 副会長 新妻 尚祐
・教育訓練委員長 専務理事 飯島 勉
・広報委員長 常任理事 岑 直樹
・労務委員長 常任理事 飛田 良樹

一般社会目線の取組重要 労働力の調整が課題

全国鉄筋工事業協会（岩田正吾会長）は10月29日、広島市のホテルグランヴィア広島で秋季定例会（雇用改善推進会議）を開催した。岩田会長は「社会保険、休日、処遇改善について、人権を尊重し、最低賃金を示す必要があり、難しいテーマである。取り組む上では一般社会の目線が最も大事であり、学識経験者らに参加してもらう」

岩田会長は「社会保険、休日、処遇改善について、人権を尊重し、最低賃金を示す必要があり、難しいテーマである。取り組む上では一般社会の目線が最も大事であり、学識経験者らに参加してもらう」

岩田会長は「社会保険、休日、処遇改善について、人権を尊重し、最低賃金を示す必要があり、難しいテーマである。取り組む上では一般社会の目線が最も大事であり、学識経験者らに参加してもらう」



B. 講演 [Web]

- 「国土交通省の政策説明と現状把握」
国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長 横田 僚子様
- 「特定技能外国人受入の制度と展望」
一般社団法人 建設技能人材機構（JAC） 管理部長 麓 裕樹様
副会長 武田 美治
- 一、閉会の辞
副会長 武田 美治

組合紹介 広島鉄筋組合

広島鉄筋組合の紹介とご挨拶を致します。

広島県の県庁所在地の広島市は中国・四国地方最大の都市であり、政令指定都市に指定されています。一方で海・山の豊富な自然にも恵まれ、農業・漁業も盛んです。広島湾に浮かぶ厳島（安芸の宮島）は日本三景の一つに数えられています。厳島（通称宮島）にある神秘の海上社殿「厳島神社」と平和の祈り「原爆ドーム」はユネスコ世界文化遺産として登録され、世界に誇る観光地の一つです。広島県民のよりどころとしてなくてはならない存在のプロ野球球団「広島東洋カープ」「お好み焼き」「牡蠣」など魅力的なものがたくさんあります。

広島鉄筋組合の加盟事業者数は24社。広島建設アカデミーの活動に参加し、人材確保と育成に力を入れ、工業高校への出張教育を行っています。実際に聞いて、見て、体験して鉄筋工事業に関心を持っていただき、未来の技能者に繋げる事を目標として取り組んでおります。

今後は中国地方の組合員同士の意見・情報交換を大切し、職人の処遇改善、技能・技術の向上に向け取り組んでいきます。

全国の組合員の皆様との繋がりを大切にして更なる業界発展に向けて尽力していきたいと思っております。

今後とも変わらぬご指導を賜りますようお願い致します。

第30回 (公社)全国鉄筋工事業協会青年部連絡会議の報告

日頃は青年部活動へのご理解、ご支援誠にありがとうございます。

またお忙しいところ、岩田会長にはリモートでの参加、飯島専務理事、熊谷担当理事、國井開催地区理事長には、現地でのご出席、重ねてお礼申し上げます。

11月12日に名古屋市の東京第一ホテル錦にて、第30回(公社)全国鉄筋工事業協会 雇用改善 全国青年部連絡会議が、WEB併用で行われ、全国から24地区、53名が現地参加、WEB参加が32名と、沢山の青年部会員が参加しました。今回の会議で工夫したところは、コロナの感染対策と、日帰りでも会議に参加出

来るように、時間を短縮して行う事としました。その中で、会議の内容を濃くする事が求められますが、発表者の熱意も強く、会議の時間は予想通り、15分延長してしまいました。今回は、第一部で、週休二日、自主検査の経費算出、能力評価制度、第二部でBIM、CIMがこれらから必要になる理由、の二部構成で行われました。第一部では、各社が行っている自主検査に、どのくらいの経費をみておく必要があるのか、事例をもとに、簡潔に説明してもらい、もっと分かりやすく簡単に、提出書類を作るアプリの紹介等、盛りだくさんの内容になりました。

他者の取り組み 自社に生かす

他社・他組合の取り組みを自社の経営に生かす。全国鉄筋工事業協会の青年部(松本代表幹事)は11月12日、「魅力ある産業『誇りある仕事』」をテーマに第30回全鉄筋雇用改善青年部全国連絡会議を名古屋市東区第一ホテル錦で開催した。写真。ウェブでも参加した。会員企業の週休2日制や自主検査経費の算出、人事評価・能力評価について発表するとともに、意見交換し交流を深めた。人事評価には参加者の多くが関心を持ったようだ。

全鉄筋青年部の全国連絡会議



松本代表幹事

週休2日については、4週6休として4週6休をセコンド制度が石川県内全域に定着するまで、各社にお願いするところが増えた。休日の分の労働費を要約準備に組み込む要請も、理解を得ることができたことが大きい。同時に、組合員同士の連携や情報共有を密に行うことも、工事の初期段階で施工を担うので遅延が他職種や工期に大きな影響を及ぼすので、相互の綿密な工程調整が必要であり、若年者の入職率や定着率に同じ課題を持つ建設組合と連名で依頼書を提出したことも実現の一因という。中でも、4週4休から4週5休を経て4週6休へと時間を掛けた。池田社長は「人事評価、賃金制度を導入して2年目になる。昇給、賞与配分の基準がなかった。公平な評価ができていないか、社員に不満はないか」といふことが課題と思っていた。また、育成計画やキャリア

けて取り組んできたことが大きく、「完全週休2日制の実現にも時間を掛けてセコンド会社に説明するとともに納得してもらい実現に努めていきたい」とした。人事評価制度については導入したビップ(静岡県袋井市)の松本勝社長とタイニッセイ(千葉県市川市)の池田洋一社長が導入に至った経緯や、その効果と今後の課題などについて説明した。松本社長は「個人のスキルなど自分のさじ加減でやってきた。間違っているとは思ってなかったが、キャリアを積み上げていくとき、さじ加減の部分は全体で共有できないため、能力評価システムを導入することに決めた」と経緯を説明し、導入の成果として、「双方が納得した形で新たな目標を立てられる」といふことが、各社員の立てた目標をみることで、助け合うことにもつながっているとした。

週休二日については、現状ほとんどの地区で4週5休が定着しているようだが、まだまだ地域差があるようです。就労日数や、就労時間など、まだまだ各地域での話し合いが必要だと感じました。能力評価では、評価基準がサジ加減ではなく、労使が共に納得が出来、また会社全体で評価することにより、個人の目標を共有できる仕組みになっているところが、非常に評価できる内容となっていました。第二部では、BIMとCIMについて、海外ではどのような展開をしているのか、また日本では、今後どのように展開されるのか等、いろいろな情報がつまっていました。特に材料のロスに着目し、コイル材を使用した自動曲機の紹介には、これからの工場の省力化が見えてくる、画期的な取り組みだと感じました。総評として2015年の連絡会議を振り返り、10年後の未来を想像した半分が経った今、想像を超える現実があることを、会場の皆さんと共有しました。時代の変化には、流されるのではなく、しっかりと対応し、我々の業界に定着させることが必要だと考えております。これからは更なる職人の待遇の向上を目標に、皆さんと知恵を出し合い、この業界が魅力ある産業、誇りある仕事へ変わっていく事に邁進していきます。最後に、中部地区青年部の皆様におかれましては、素晴らしい設営をして頂きまして本当にありがとうございます。さらなる鉄筋業界の発展をご祈念いたしまして青年部全国連絡会議の報告とさせていただきます。

青年部部長 松本 勝

令和3年 秋の褒章

褒章「黄綬褒章」

- | | |
|----------------|-------|
| ★熊本県鉄筋工事業協同組合 | 理事長 |
| 熊本県職業能力開発協会 | 理事 |
| (一社)熊本県技能士会連合会 | 理事 |
| 熊本県総合工業団地協同組合 | 理事長 |
| 熊本県建設産業団体連合会 | 理事 |
| 他 団体理事 多数... | |
| ★(株)中村鉄筋工業 | 代表取締役 |

中村 隆 様



事業者の方へ

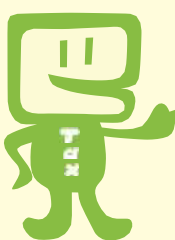
国税庁

消費税の
インボイス
制度

登録申請受付中!

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。
インボイスを交付する事業者となるには事前に登録申請が必要です。

登録申請手続は、e-Tax をご利用ください!!



- ✓ 「e-Taxソフト(WEB版)」, 「e-Taxソフト(SP版)」をご利用いただくと質問に回答していくことで申請が可能です。
- ✓ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。



個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。
e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

全国どこからでも誰でも参加可能な
オンライン説明会を開催

- インボイス制度に関する一般的なご相談は、軽減・インボイスコールセンターで受け付けております。
【専用ダイヤル】0120-205-553 (無料)
【受付時間】9:00~17:00 (土日祝除く)

インボイス制度の基本的な事項や留意すべき点などを解説します。また、チャット機能を利用した質疑応答も行っております。

説明会サイトへ▶



インボイス制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。



特設サイトへ



ジュニア
マスター

萩原 弘明
株式会社東和鉄筋工業
長崎県鉄筋工事業協同組合



建設
マスター

西倉 英雄
株式会社中铁
関西鉄筋工業協同組合



建設
マスター

滝沢 浩之
株式会社門井工業
神奈川県鉄筋工業協同組合

令和3年度
青年優秀施工者
不動産・建設経済
局長顕彰

令和3年度
優秀施工者
国土交通大臣顕彰



ジュニア
マスター

中村 竜一郎
株式会社中村鉄筋工業
熊本県鉄筋工事業協同組合



ジュニア
マスター

熊谷 元太
丸正誠伸興業株式会社
北海道鉄筋工業協同組合



建設
マスター

吉村 達哉
株式会社宮村鉄筋工業
福岡県鉄筋工業協同組合



建設
マスター

宮村 恵介
旭鉄筋株式会社
富山県鉄筋工事業協同組合



建設
マスター

奥村 孝志
田原鉄筋工業株式会社
北海道鉄筋工業協同組合



全鉄筋外
推 薦

大坂 桐慶
張替鉄筋工業株式会社
東京都鉄筋工業協同組合



全鉄筋外
推 薦

小嶋 高広
株式会社ノーグチ
熊本県鉄筋工事業協同組合



建設
マスター

上田 秀策
株式会社伊藤鉄筋工業
大分県鉄筋工事業協同組合



建設
マスター

林 誠
株式会社アイテツ
愛知県鉄筋工業協同組合



建設
マスター

原 健一郎
株式会社松伸
東京都鉄筋工業協同組合

各地区広報活動報告

徳島県鉄筋工事業協同組合

徳島県鉄筋工事業協同組合では毎年、若手人材確保対策の一環として、県内の高等学校において出前講座を開催しております。今年度は既に、普通科2校、工業系2校、計4校にて実施しました。

掲載した写真は、徳島県立科学技術高校で開催した時のものです。柱・梁・壁・スラブの配筋を体験してもらうために型枠を組んで、実際の工事さながらの環境を再現しています。柱及び梁主筋の端部は、アンカー曲げでなく定着プレートを採用し、未経験の生徒さん達にも施工しやすい部材を用意しました。このような部材が施行の省力化や効率化に役に立っていることを、主催した我々も改めて実感した次第です。

普段は鉄筋コンクリート造の学び舎で勉学に勤しむ高校生達も、実際に建物の「中身」を目の当たりにする機会は殆んど無いと思われます。そのため参加者全員が興味津々で組立作業に取り組んでくれました。ある高校では出前講座で組み立てた鉄筋を、そのまま学校の文化祭の展示物にしたいのご提案も頂きました。

このような取り組みを行っても現実問題として、業界への希望者は少なく、若手技能者の確保は難しいものがあります。ただ、今年度出前講座に参加した、工業高校の建築科で学ぶ生徒さんの中に、「自分は躯体の作図をしているが、いつも自分が図面に描いている建物の中に、このように鉄筋が入っていることを初めて知った。是非、鉄筋施工の分野で仕事をしたい」と言ってくれた人がいました。これはまさに、我々の企画に自信を持たせてくれた言葉であると、熱い思いとともに受け止めております。

この生徒さんのような人を、ひとりでも増やしていくため、今後も模擬体験のできる場として、また「百聞は一見に如かず」を実践する活動として、今後も出前講座を続けていきたいと思っております。



島根県鉄筋工事業協同組合

島根県鉄筋工事業協同組合では、県内の高校等に対して、出前講座（助成金の関係で体験学習とも呼ぶ）を開催しています。

今年度は、7月から10月にかけて、島根職業能力開発短期大学（通称ポリテクカレッジ）、県立出雲工業高校、県立松江工業高校の3校において、延べ10回（10日）、受講生延べ143人に対して出前講座を行いました。

開催の目的は、将来、鉄筋工事業への入職ですが、ものづくりのおもしろさを体験してもらうこともそのひとつです。受講生の中から、将来の鉄筋工が生まれることを期待しています。

講師は、ものづくりマイスターの資格を持つ、青年部を中心とした中堅・若手一級技能士で、1回につき講師2名が担当し、時間は、約3時間です。

講座の内容は、講師が、ジョークを交えて鉄筋工事業の役割や鉄筋工の魅力などを口頭で伝えます。その上で講師が、ハッカーを用いて鉄筋を結束する等の実演を行います。その後、技能検定2級用資材によりグループ単位での組立体験をしてもらいます。

当組合は、組合員数9社と少ないこともあって、講師の確保や事業費の確保もままならない状況にありますが、組合会員の熱意と努力によりなんとか講師も確保でき、また労働局の助成金を使わせて頂くことで、事業費もまかなうことができています。

参考までに、この助成金は、労働局が所管する人材確保等支援助成金で「若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース」です。このコースのメリットは、事務局の人件費助成もあることで、大変助かっています。



トピックス

◆ 経営委員会内に、「鉄筋工事標準請負単価設定」を担うWGが緊急設置されました

レベル別最低賃金を担保する標準請負単価作成WG

住宅なら坪いくら、タクシーならメーターいくら、と一般的な商行為にはほとんどのものに標準価格があり、価格管理が行われ、そこに働く人たちの生活は守られています。

本来、我々鉄筋工事に関してもトンあたりいくらという表現がありましたが、適正な価格という観点からは適正な単価と言うものではなかったと考えます。

建設業法第19条の3に「不当に安い請負代金」で発注した場合には建設業法違反になる恐れが記載されていますが、過去、この法律に抵触した鉄筋工事案件は承知しておらず、この「不当に安い」根拠を示す必要があります。

昨今、鋼材価格が高騰し、各地で単価の下落が見え始めているところではありますが、適正な単価に関しての根拠がなく、指値発注（これも建設業違反ではありますが）が横行し、今後の情勢には危機感を抱いています。

鉄筋工事業に従事する職人の処遇改善を進めるうえで、決して後戻りはできません。

本来、社員を雇用し、管理者を立て、法定福利費の負担をし、法定有給休暇を取得していく本当の意味での「職種」に今変わろうとしている鉄筋工事業が今後将来を担っていくであろう若者たちに残せるものとして非常に大切な「変革」だと考えています。

無論、標準単価を境にした価格競争はあるべきで、企業努力、社員教育は欠かせません。

よりよいものを残していくためにも、社員の成長、企業の成長に必要な原資・単価がいくらなのかを早急に指し示す必要があると考えます。

MSI

Building system for improvement
(建設、改善、向上)

技術研鑽のための
マッチング支援システム

技術研鑽のための
マッチング支援システム

私たちは、
技能に優れた鉄筋工事企業集団として
社会に貢献します。

MSI

技術研鑽のための
マッチング支援システム

こちらからログイン

全鉄筋の会員企業は、協会のホームページから「技術研鑽のためのマッチング支援システム」を利用することができます。日常の技能者手配管理を容易にするツールとして、是非、ご利用ください。

UP
CCUS

CCUSの能力評価（レベル判定）

国土交通省が主導し建設業振興基金が主管する「建設キャリアアップシステム」において、全鉄筋は「鉄筋技能者能力評価基準」を策定し、国土交通省より建設技能者の能力評価制度に関する告示（平成31年国土交通省告示第460号。以下「告示」という。）に基づく大臣認定を受け、鉄筋施工技能者の評価レベル2～レベル4のレベル判定事務を実施しています。

「建設技能者の能力評価制度」は、建設キャリアアップシステム（CCUS）に登録された保有資格や現場の就業履歴などを活用し、技能者一人ひとりの経験や、知識・技能、マネジメント能力を正しく評価します。

国土交通省レベル判定システムの停止に伴う能力評価の実施について

鉄筋技能者の能力評価（レベル判定）申請受付フォーム準備中

今般、国土交通省レベル判定システムの停止に伴い、協会のホームページから鉄筋施工技能者に関する能力評価（レベル判定）の申請受付ができるよう、全鉄筋独自のシステム開発に着手しました。

つきましては、システム開発の完成まで、しばらくお待ちください。

（令和3年度内完成を目標）

編集後記

2019年12月中国武漢から新型コロナウイルス感染症が発症してもう既に2年が経とうとしております。振り返るとたかだか2年前までの出来事がこんなにも遠い過去の記憶になるうとは、現在を迎えるまで想像もした事がありませんでした。▼そんな近くて遠くになってしまったひと昔前を振り返りながら、これから迎える未来への心構えを見つけてみたいと思います。▼2005年11月姉歯偽装問題発覚。発覚後確認申請が通りにくく成り予定していた工事が急ブレーキ。2007年末〜2008年8月にかけて原油・レアメタル・各資材高騰。2008年8月北京オリンピック後の9月15日リーマンショック発生。2011年3月11日東日本大震災。▼息つく暇もない位に次から次へと難問が襲いかかって来ていた事を思い出します。そんな疲弊してしまっていた頃2013年9月8日に決定した2020年東京オリンピックは日本に元気を、特に建設業界に携わる我々には夢と希望を与えてくれました。その後の東京を中心とした五輪景気、リニアプロジェクト、大型開発などが全国に伝わる原動力になるとも信じておりました。▼そんな流れでむかえた2019年4月施行の働き方改革。中小零細企業には非常に難問が有り、それらをクリアする為に経営者は日々戦い続けている事と思います。そして2020年1月日本における1人目のコロナ感染者発生。4月緊急事態宣言。7月東京オリンピック1年延期。10月には2050年カーボンニュートラル宣言。2021年7月無観客東京オリンピック開催。2021年11月原油・各資材高騰。2022年2月冬季北京オリンピック開催（予定）。▼時代の変化スピードは急激に早まっている事は間違いないと思います。そしてこのスピード感に乗り遅れない為にはやはり危険予知しかないと思っております。今こそ全鉄筋の歴史と各組合員の知恵と経験を活かし、繰り返し歴史の波を乗り越える為の危険予知活動を季刊誌パワーを通じて情報発信して行きたいと思えます。▼2021年も残りわずかとなりましたがまだまだコロナ禍は終息致しておりません。手探り不透明な世情ですが季刊誌パワーが皆様との情報共有の機会となり各社組合員がこの情報を活かし、全鉄筋一同が結束し続けられる事を願い結びとさせていただきます。

松本 茂

編集委員

委員長 岑 直樹（宮城）

副委員長 宮本 ゆり子（山口）

木浪 裕子（北海道）

松本 茂（東鉄協）

工藤 桂一（神奈川）

松本 真一（静岡）

田浦 真一（関西）